

菊池 詩織 個展

KIKUCHI Shiori solo exhibition

あなたの部屋から隣り

From your room to the next



www.kunstarzt.com

KUNST ARZT では、菊池詩織の初個展を開催します。

菊池詩織は、「野生」「本能」についての考察を实践するアーティストです。

卒業制作作品でもある、ベッドに全裸で四つん這いのセルフポートレートに自身の髪を植毛した「galloping woman (2023)」は、「野生化した女性」をこれ以上ない強度で突き付けました。

本展では、ギャラリーに食卓、ベッドを配置して人間の生活空間に見立て、そこに植木鉢に入れられた植物、オムツをさせられた鶏を持ち込み、作家は会期中、共に過ごします。

(KUNST ARZT 岡本光博)



galloping woman

2023

インクジェットプリント、頭髮、アクリル

1800×1200×100 mm

髪という「境界」に位置する現象について考え、新たな身体の獲得を目的とし、セルフポートレートに自身の髪を植毛した作品。

経歴

2000 熊本県阿蘇市生まれ

2023 京都芸術大学美術工芸学科卒業

展覧会

2022 VIC 同時代ギャラリー

2022 旅と文学 メディアショップ

2022 写真は変成する 11 BLeeDinG eDgE on PoST/pHot0gRapHy ギャルリオーブ

2023 写真は変成する 111 インタープレイ 相互に作用すること on PoST/pHot0gRapHy ギャルリオーブ

2024年9月17日(火)から22日(日)

12:00から18:00

会場: KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

菊池 詩織 個展

KIKUCHI Shiori solo exhibition

あなたの部屋から隣り

From your room to the next



www.kunstarzt.com

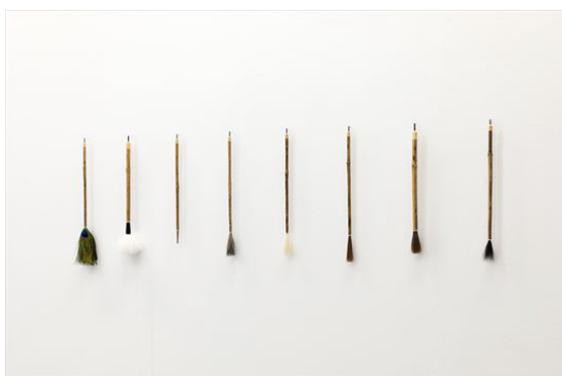
アーティストステートメント+ 展覧会コンセプト

遠い昔、狩猟採集民だった私たちは農耕の始まりと共に、生活を自然の中に置くことをやめ、自らの領土で管理することを始めた。

現在、狩猟は鳥獣保護管理法の元行われ、主に被害を与える動物を"害獣"として殺戮し、人間本位に自然をコントロールしようとしている。

人間の自然への欲望は時として自分のテリトリーの中でプランターやオムツへと形を変え、他種に強制する。一方で私たち自身も世話をするという責任を負い、互いに巻き込まれ、重要な他者になっていく。

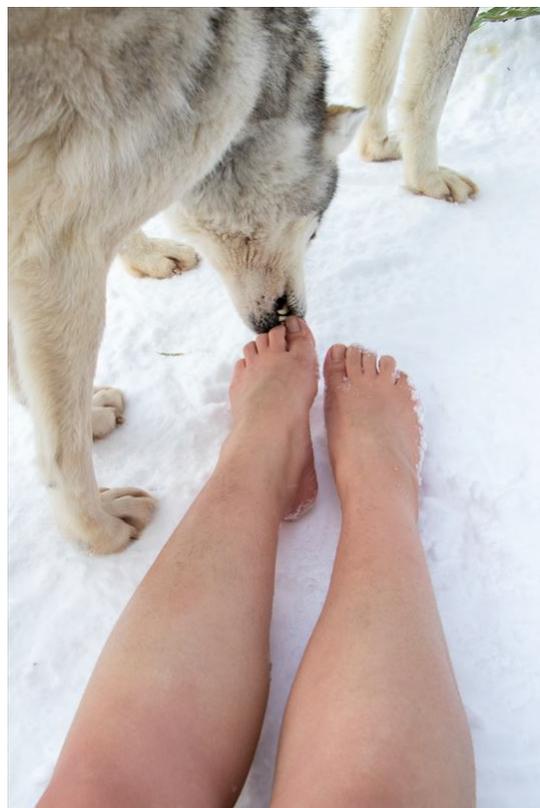
今回の展示では私の1番身近な他者である鶏と月桂樹とギャラリーの中で1週間生活をし、人間の生活空間をつくる。相互に作用する他者とのコミュニケーションを通し、人と自然が支配ではなく共に生きる道を模索する。



8種類の筆

2023

孔雀、白鳥、駒、狸、猫、馬、猿、人間
人間特有の「書く」という文化には昔からあらゆる植物や動物が利用されてきた。その中に人毛で作られた筆を等しく展示する。



deep forest

2022

インクジェットプリント サイズ: 可変
狼犬が群れで生きる環境の中で生活を共にし、異質な私たちがどのように己を守り、己を開き、コミュニケーションを築いていくのか模索する。



familiar

2021

燃やされたカラープリント サイズ: 275×220×35
父と母と自身の幼少期の写真を選び、記憶に深く根ざす家父長制からのトラウマに対し、フォトセラピーを用いた作品である。向かい合った二枚の写真から改めて家族について考える。